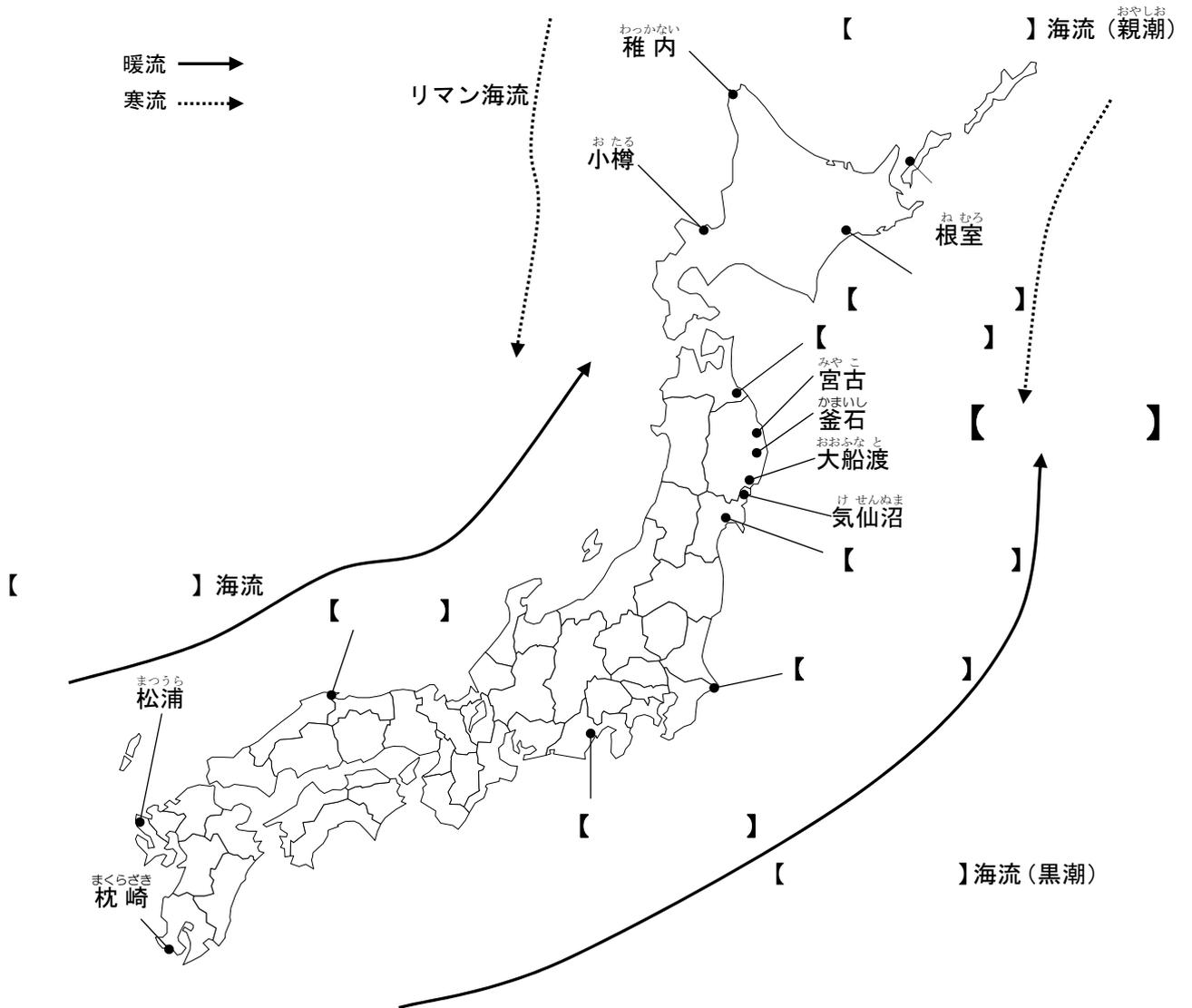


水産業

①おもな漁港とその特徴



三陸海岸沖：青森県（陸奥国）、岩手県（陸中国）、宮城県（陸前国）にまたがる海域。

【 】：三陸沖から千葉県銚子市の沖にかけて、寒流の【 】海流（親潮）と暖流の【 】海流（黒潮）が出会う海域。海流に乗ってさまざまな魚が集まってくる上、エサとなるプランクトンが多く、非常によい漁場である。別名「潮境」ともいう。

【 】：水深の浅い海。日本周辺では東シナ海などに広がっており、よい漁場となっている。

- 【 港（北海道）：1991年まで水揚げ量1位だった。北洋漁業の基地。いわしの減少により漁獲量が減っている。さんま・たら・かに・にしんなどの水揚げ量が多い。
- 【 港（青森県）：【 】の水揚げ量が多い。
- 【 港（宮城県）：東日本大震災で被災し、一時水揚げ量が減った。復興が進む。
- 【 港（千葉県）：利根川の河口に位置しており、さんま・【 】の水揚げ量が多い。【 】漁業がさかん。
- 【 港（静岡県）：【 】・かつおの水揚げ量が多い。
【 】漁業の基地である。
- 【 港（鳥取県）：日本海側では水揚げ量1位。

まくらざき
枕崎港（鹿児島県）：かつおの水揚げ量が多い。

①漁業の種類

- 【 漁業…大型漁船で、数十日～数カ月かけて漁に出る。まぐろ・かつおなど。1970年代ごろまでは最も漁獲量が多かった。しかし、1973年に起こった【 】によって、船の燃料代が急激に上がり、大打撃を受ける。さらに、各国が【 】を定め、自国の沿岸から【 】カイリ（約370km）以内の水産資源を優先的にとるようになったため、外国の海で漁をすることが難しくなった。以後、現在に至るまで漁獲量は減り続けている。
- 【 漁業…沖合で、数日～1週間かけて漁をする。いわし・さんま・いかなど。漁業の中では漁獲量が1位。しかし、日本近海ではいわしの漁獲量が減っており、結果としていわしを食べて育つ他の魚も減ってしまっているため、1990年をピークに徐々に漁獲量は減り続けている。
- 【 漁業…海岸近くで小型漁船を用い、日帰りで漁をする。さば・あじ・たいなど。海の汚染や埋め立てなどにより、やはり漁獲量は減り続けている。
- 【 業…育てる漁業。のり・かき・真珠・こい・うなぎなど。唯一、漁獲量が減っていない漁業である。海で育てる場合は海面養殖業、川や湖などで育てる場合は内水面養殖業という。

②育てる漁業

養殖業…稚魚から成魚になるまで、いけすなどの中で水産物を人工的に育てる。

おもな品目

のり：1位 佐賀県…【 】での養殖がさかん。

2位 兵庫県…瀬戸内海は波がおだやかなので養殖に向いている。

ほたてがい：1位 青森県…【 】湾での養殖がさかん。

2位 北海道…汽水湖である【 】湖での養殖がさかん。

かき：1位【 】県 2位 宮城県

しじみ：島根県（【 】湖）・青森県（十三湖） 漁獲量はほぼ同じくらい。

真珠：1位 愛媛県（【 】海） 2位 長崎県（【 】湾）

3位【 】県（【 】半島の英虞湾）

うなぎ：1位【 】県…【 】半島にある志布志湾での養殖がさかん。

2位 愛知県…【 】湾での養殖がさかん。名古屋名物「ひつまぶし」。

静岡県（【 】湖）のうなぎも有名だが、宮崎県に次いで4位である。

きんぎょ：1位【 】県…【 】市での養殖がさかん。

【 】漁業…人工的に育てた稚魚を放流し、自然の中で育て戻ってきた成魚をとる。

（例）サケ、マス、クルマエビなど

・母川国主義ぼせんこくしゅぎ…産卵・ふ化のために生まれた川にもどるサケやマスについては、生まれた川のある国に管理する権利があるという考え方。

③漁業の問題点・その他

・【 】…工場などの排水によってプランクトンが異常発生し、海の色が変色する現象。

・乱獲らんかくと規制…世界のまぐろの約4分の1を日本で消費している。さらに、世界的にまぐろの需要が高まっているので、まぐろの数そのものが減少している。そのため、国際的な条約によって、とる量を制限している。また、うなぎも乱獲や環境の悪化によって稚魚の数が激減している。結果として、近年はまぐろやうなぎが大幅に値上がりしている。

・【 】…「海岸近くの森林は魚を引き寄せる」という言い伝えがある。森林を大切にすることが海の環境を守ることにもなると考えられている。

④水産物の輸入

最近は食生活の変化により「魚離れ」が起こっており、年々消費量は減ってきている。

とはいえ、日本人の魚の消費量はまだ世界一であり、国内でとれる分だけではまかないきれないため、1年間で約1兆5000億円もの水産物を輸入している。

世界の漁獲量

1位 中国・2位 インドネシア・3位 アメリカ

※日本はかつて1位であったが、現在は7位。

おもな水産物の輸入相手国

さけ・ます：1位 【 】・2位 ノルウェー・3位 ロシア

えび：1位 【 】・2位 インド・3位 インドネシア

まぐろ：1位 台湾

東南アジアでは日本へ輸出するえびの養殖のため、【 】林を伐採して養殖場を作る場合が多い。マングローブはふつうの森林に比べて、二酸化炭素の吸収率が高く、過度の伐採は地球温暖化や環境破壊につながる。

